

学習場面に応じた ICT 活用分類 (科野小学校)

文部科学省「学びのイノベーション事業実証研究報告」

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/26/04/_icsFiles/afieldfile/2014/04/11/1346534_01.pdf をもとに本校の ICT 機器の環境、研究の継続性、児童の学習の実態、学習環境を加味している。

3 ICTを活用した指導方法の開発

〈学習場面ごとのICT活用を類型化し、そのポイント及び実践事例を掲載〉

A 一斉学習		B 個別学習		C 協働学習	
<p>挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を利用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。</p>		<p>デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。</p>		<p>タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学習において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。</p>	
<p>A1 教員による教材の提示</p>  <p>画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用</p>		<p>B1 個に応じる学習</p>  <p>一人一人の習熟の程度等に応じた学習</p>	<p>B2 調査活動</p>  <p>インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録</p>	<p>C1 発表や話し合い</p>  <p>グループや学級全体での発表・話し合い</p>	<p>C2 協働での意見整理</p>  <p>複数の意見・考えを議論して整理</p>
<p>B3 思考を深める学習</p>  <p>シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習</p>	<p>B4 表現・制作</p>  <p>マルチメディアを用いた資料、作品の制作</p>	<p>B5 家庭学習</p>  <p>情報端末の持ち帰りによる家庭学習</p>	<p>C3 協働制作</p>  <p>グループでの分担、協働による作品の制作</p>	<p>C4 学校の壁を越えた学習</p>  <p>遠隔地や海外の学校等との交流授業</p>	

※図は文部科学省「学びのイノベーション事業実証研究報告書（概要）」より引用

〈科野小学校の ICT 機器を使う目的〉

- ①使うことで子どもたちの学び（学習活動における「一人ひとりの分かり方」）に対してどういった効果があるのか、どのような力がつくことが期待できるのか。
 - ②使うことでどのような学び合い（協働学習）での学習活動が期待できるのか。
- という観点から、現在の本校の環境で出来る活動を例示している。

◎科野小学校における ICT 活用分類

A 一斉学習 実物投影機 みらいスクールサーバー プロジェクターネットワーク接続

A1: 教員による教材の提示 **※本時で実施**

画像の拡大提示や書きこみ、音声、動画などの活用

〈具体例〉

- ・ひらがな・漢字・ローマ字の学習での提示（1～3年）
- ・学習問題の提示と書きこみ（全学年）
- ・音楽の授業での楽譜や歌詞カードの提示、書きこみ（全学年）

- ・特別活動（行事等）遠足やスキー教室等で注意事項や道のりなどの指導（低学年）
- ・朝の活動での歌（歌詞カードと伴奏の音源）の提示（全学年）
- ・動画で歯みがき指導（養護教諭作成・全学年）

B 個別学習 タブレット（カメラ機能・動画機能 ドリルソフト）プロジェクターネットワーク接続

B1：個に応じる学習

<具体例>

- ・ドリル（授業・ドリルの時間・朝の活動）
- ・授業における課題の個人追究（3年以上） **※本時で実施**
- ・体育で個人の課題把握（器械体操、陸上など）

B2：調査活動

<具体例>

- ・インターネットを用いた情報収集、写真や動画などによる記録（3～6年）

B3：思考を深める学習 **※シミュレーションソフトが充実していないのであまり行えていない。**

<具体例>

- ・拡大（縦・横・全体）縮小による算数の学習（6年…昨年度実施）

B4：表現・製作（個別）

<具体例>

- ・ペイントソフトを用いた作品制作（全学年）
- ・画像を使ったレポート作成（3年・4年）

B5：家庭学習 **※環境がないので実施していない**

C 協働学習 タブレット プロジェクターネットワーク接続 学習ソフト

C1：発表や話し合い

学習中に自分の考えや図表等を全体で共有し、考えたり話し合ったりする。 **※本時で実施**

<具体例>

- ・ダンスの学習で気づいたことを全体で共有する（3年）
- ・道徳で、一人一人の考えを記入して友だちの考えを知り、自分の考えを深める（4年）
- ・書写・図工で作品や経過を見て、良い点や気をつけたい事を共有する（3～6年）
- ・学習の全体発表場面での活用（3～6年）
- ・音読劇で、自分たちの発表を見返して課題をつかむ（2年）

C2：協働での意見整理

複数の意見・考えを議論して整理 **※本時で実施**

<具体例>

- ・面積の求め方（4年・5年…昨年度実施）
- ・図形の分類（3年…今年度実施）

C3：協働制作 **※ソフトがないので実施していない**

C4：学校の壁を超えた学習 **※実施していないが、環境は整いつつある。**